

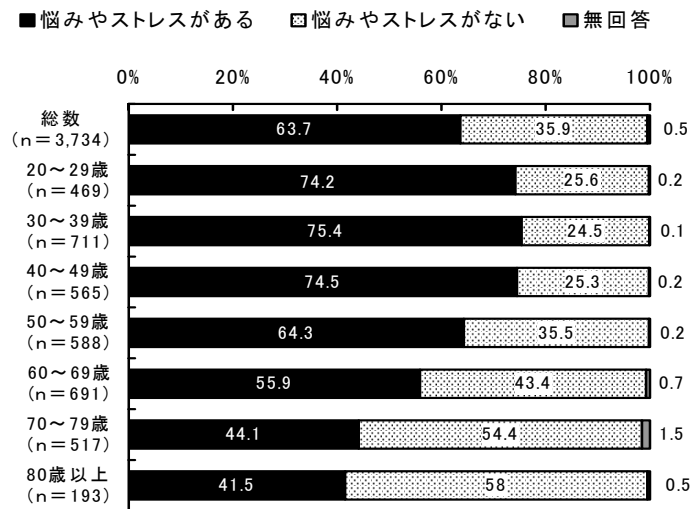
I - (4) 働き方と健康

1 悩みやストレスの状況

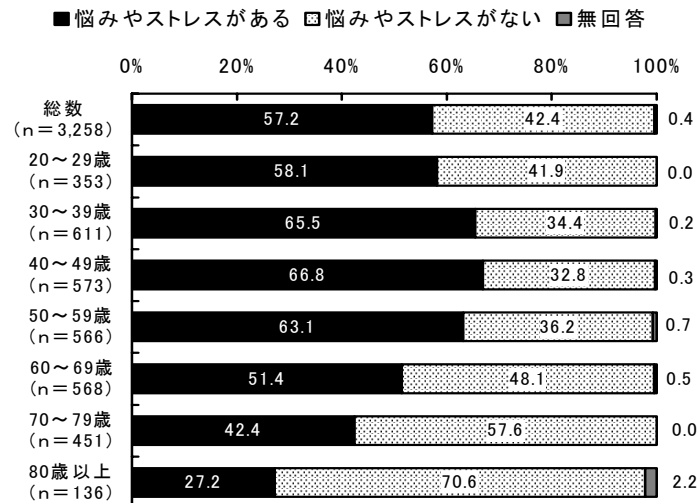
悩みやストレスがあると答えた割合は、男性 57.2%、女性 63.7%と女性の方が高く、特に 20 歳から 49 歳の女性では 7 割以上が悩みやストレスがあると答えている。

図表 I - 4 - 1 悩みやストレスの状況(都)

<女性>



<男性>

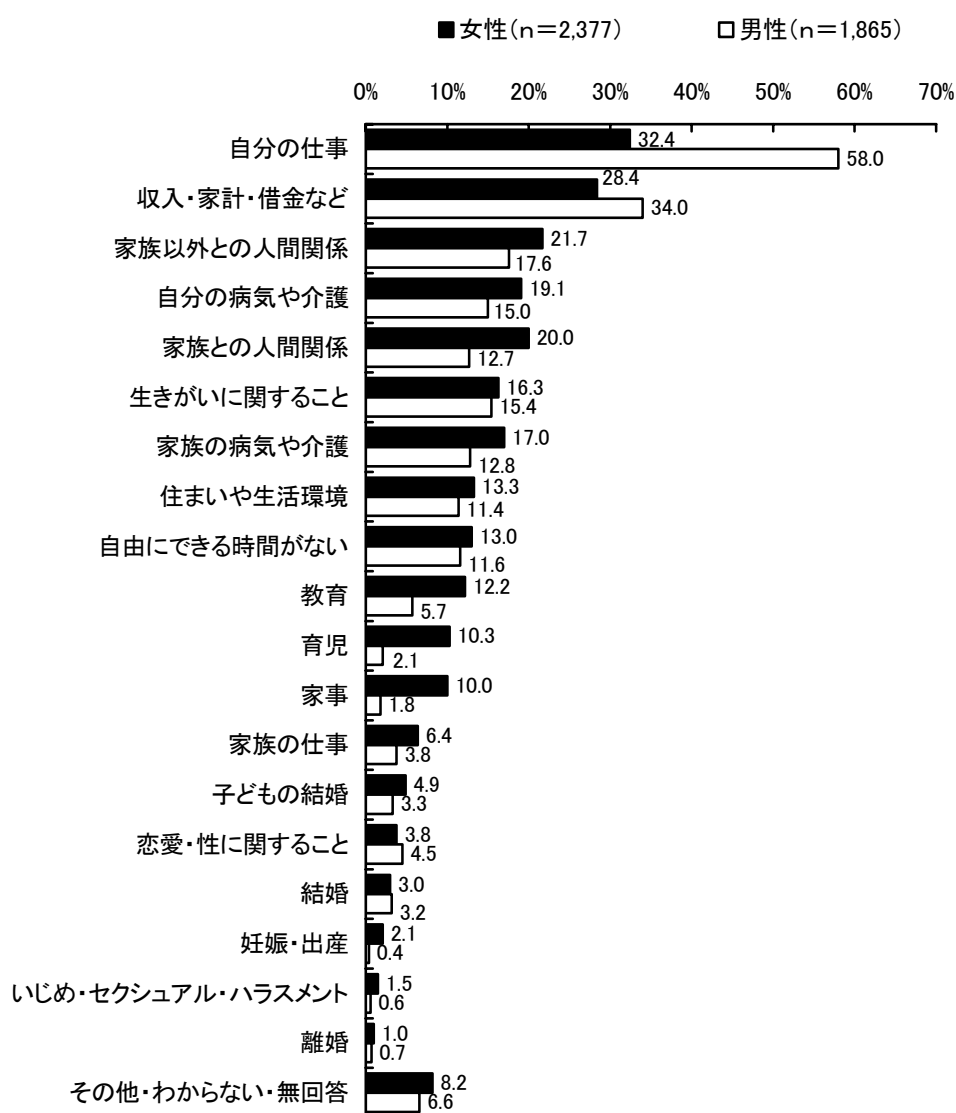


資料：東京都福祉保健局「都民の生活実態と意識」平成 18 年度

## 2 悩みやストレスの原因

悩みやストレスの原因が「自分の仕事」と答えた割合は、男性では 58.0%、女性では 32.4%と男女ともに最も高く、特に男性では 2 人に 1 人を超えている。

図表 I-4-2 悩みやストレスの原因(複数回答)(都)

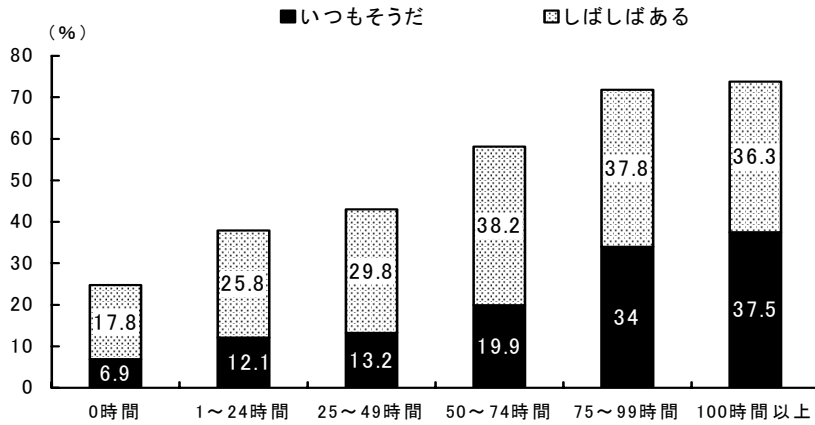


資料：東京都福祉保健局「都民の生活実態と意識」平成 18 年度

3 月間超過労働時間別仕事の疲れを感じる度合い

月間の超過労働時間が 50 時間を超えると、「いつも」あるいは「しばしば」疲労感を訴える者の割合が半数を超える。

図表 I-4-3 月間超過労働時間別仕事の疲れを感じる度合い(男女計)(全国)



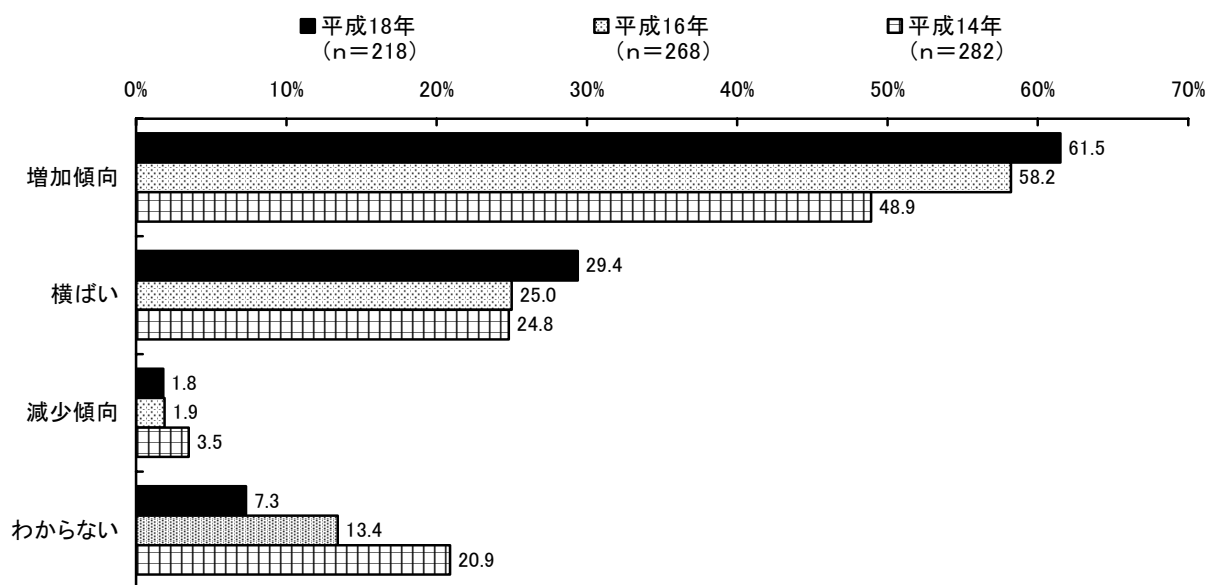
注：「一日の仕事で疲れ退社後何もやる気になれない」という質問に「いつもそうだ」、「しばしばある」と回答した者。

資料：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「労働政策報告書 No. 22 日本の長時間労働・不払い労働時間の実態と実証分析」平成 17(2005)年 3 月

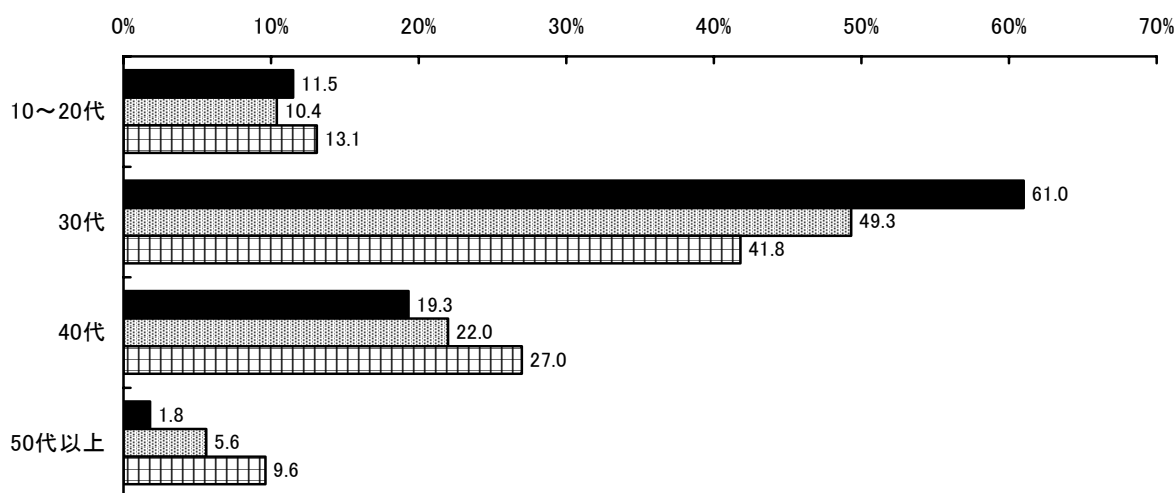
4 心の病

「心の病」については、6割以上の企業が「増加傾向である」と回答している。  
 「心の病」の最も多い年齢層は「30代」で、その割合が高まっている。

図表 I-4-4 心の病の増減傾向 時系列変化



図表 I-4-5 心の病の最も多い年齢層 時系列変化



注：「心の病」について

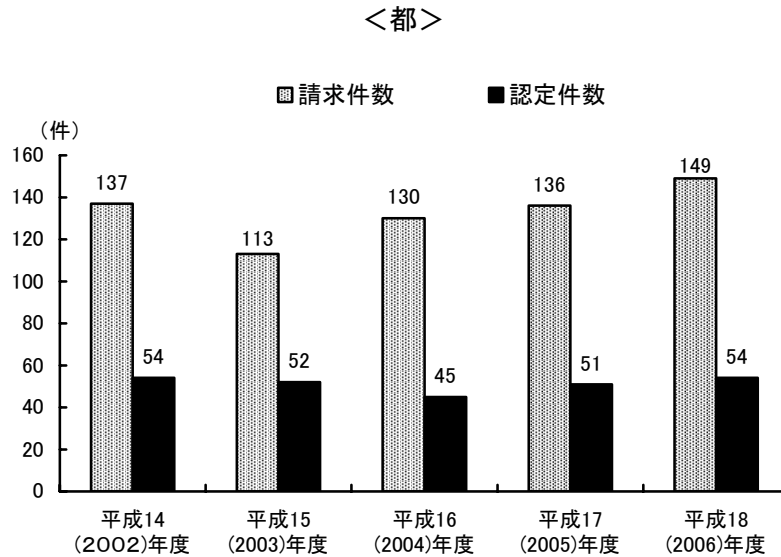
本調査では、『心の病』のうち、どのような疾患が最も多いですか」という質問項目に対する選択肢として、「うつ病」「神経症（ノイローゼ）」「心身症」「人格障害」「統合失調症（精神分裂症）」などがあげられている。

資料：（財）社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所「メンタル・ヘルスの取り組み」に関する企業アンケート調査 平成18年

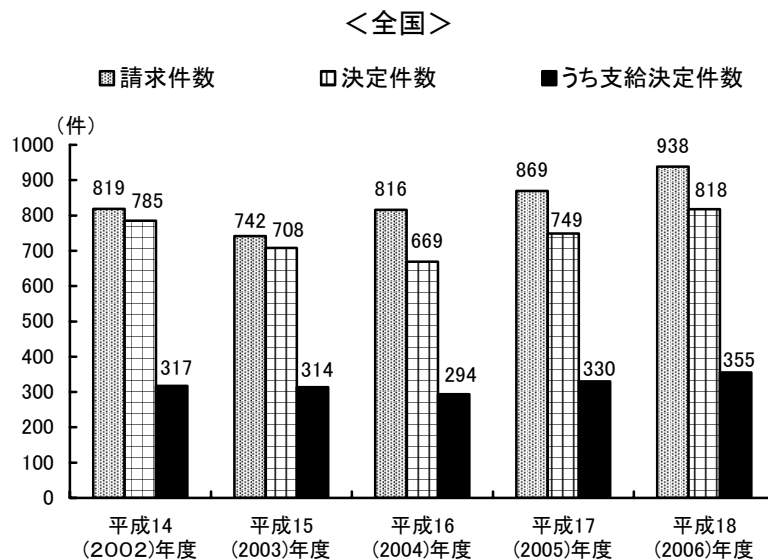
5 長時間労働に起因する労災補償支給決定件数

都、全国ともに長時間労働に起因する労災補償請求件数は、増加傾向にある。

図表 I-4-6 長時間労働に起因する労災補償支給決定件数の推移(都・全国)



資料：東京労働局「脳・心臓疾患及び精神障害等の労災補償状況」平成18年度



注1：本表は、労働基準法施行規則別表第1の2第9号の「業務に起因することの明らかな疾病」に係る脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）について集計したものである。

注2：決定件数は、当該年度に請求されたものに限るものではない。

注3：支給決定件数は、決定件数のうち業務上として認定した件数である。

資料：厚生労働省「脳・心臓疾患及び精神障害等に係る労災補償状況」平成18年度